

おおすみくん家 漂流物たんけん隊 ～海・自然・人とのつながり～

1 趣 旨 錦江湾内の漂流物を採集し、それらがどんなものでどこから流れ着いたかを考えることを通して、海・自然・人とのつながりに気付かせる。また、漂流物を使ったクラフト活動を通して、それらを生かす工夫や環境問題に目を向けさせる。

2 期 日 令和3年10月30日（土）

3 参加対象 小学5・6年生

4 募集定員 20人程度

5 参加人数 24人（申込25人）

6 指 導 者 鹿児島大学 産学・地域共創センター 特任教授 藤枝 繁氏 自然の家職員2人

7 日 程



時刻	活動内容
9:15	受付
9:25	開会式・オリエンテーション・事前学習（車中）
10:20	柏原海岸着 活動1【漂流物を探そう】①クリーンアップ ②クラフトの宝物探し
11:30	柏原海岸発
12:30	昼食（海浜施設 あずま家）
13:30	活動2【漂流物を使った作品を作ろう】①漂流物額作り ②宝物作り
14:30	活動3【漂流物について学習しよう】
15:30	アンケート記入・閉会式・解散

8 事業運営上の配慮

- 新型コロナウイルス感染防止対策として、マスク着用・手指消毒を徹底し、ソーシャルディスタンスを確保した。
- 専門的知見を有する外部指導者と協議や連絡を密に取り、活動内容の充実を目指した。

9 参加者の感想

- プラスチック等のごみによる被害を減らす活動に取り組みたい。
- 日本が捨てたごみは、アメリカとハワイの間に流れていくことを知った。
- 自分たちのせいで、どこかの動物が苦しんでいることを知った。

10 成果と課題

- 採集前に視点を与えることで、クリーンアップとクラフトを区別した活動ができた。
- 採集・クラフト・学習の3つの活動とも、児童が意欲的に参加していた。

